

中学美術 1

令和 7 年度 シラバス

新潟市立高志中等教育学校

学 科	普通科				
教科名	美術	単位数	1.5単位	学年	1 学年
使用教科書	『美術 1』 日本文教出版				
副教材等	『美術資料』秀学社、『レタリング字典』秀学社、学習プリント、ファイル（ポートフォリオ）、授業振り返りノート、スケッチブック				

1 学習目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

2 指導の重点

- ・表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指すよう指導する。
- ・作品課題提出締め切りを必ず守るよう指導する。
- ・作品制作の時間配分を考えて、主体的に学び、自らの表現を大切にできるよう指導する。
- ・作品課題制作を最後までやり遂げ、完成させるよう指導する。

3 評価規準と評価方法

	評価は次の観点から行います。		
	知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
評価の観点	・絵画、デザイン、彫刻、工芸制作において必要な知識・技能を身につけ、作品に応用することができる。	・絵画、デザイン、彫刻、工芸制作において自ら深く思考し・判断し、イメージを膨らませ、より創造的に作品を表現することができる。	・美術を愛好し楽しみながら学習活動に取り組み、授業の振り返りを次の授業に結びつけ、計画性をもって課題制作し、締め切りを守って提出することができる。
評価方法	以上の観点を踏まえ、 授業参加、授業態度、作品課題提出（締め切り評価）、ファイル提出、鑑賞レポート提出、授業振り返りノート提出、美術テスト（期末考査 2 回） などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 授業参加、授業態度、作品課題提出（締め切り評価）、ファイル提出、鑑賞レポート提出、授業振り返りノート提出、美術テスト（期末考査 2 回） などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 授業参加、授業態度、作品課題提出（締め切り評価）、ファイル提出、鑑賞レポート提出、授業振り返りノート提出、美術テスト（期末考査 2 回） などから、評価します。

4 学習計画

月	単 元 名	授 業 時 数	教材名	学 習 活 動 (指 導 内 容)	評 価 の 観 点	評 価 方 法
4	絵画、鑑賞	4	模写、デッサン、遠近法 作品鑑賞（対話的鑑賞法の実践）	・3次元（立体）を2次元（平面）に置き換える知識・技能を理解する。模写とデッサンの違いについて理解する。遠近法の種類、遠近法の成立、発明された時代背景を理解する。 ・立体から平面への表現技法を修得し表現する。 ・主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど。芸術の表現・鑑賞を探究しようとする。 ＊タブレットを使用し、画像および動画検索をし、イメージの参考にする。 ●模写とデッサンの違い ●模写 ●鉛筆デッサン ●遠近法（線遠近法、空気遠近法、色彩遠近法） ●透視図法（一点透視図法、二点透視図法、三点透視図法） ●テーマ絵画制作 ●自由課題絵画制作四つ切（文化芸術祭全員出品） ●自由課題絵画制作（文化芸術祭全員出品） ＊新潟県ジュニア絵画展覧会選抜作品出品	a、b、c	・授業参加、 ・授業態度、 ・作品課題提出（締め切り評価）、 ・ファイル提出、 ・鑑賞レポート提出、 ・授業振り返りノート提出、 ・美術テスト（期末考査2回）
5	絵画、鑑賞	6	絵画表現の下描きから本制作までの工程、イメージマップを使用したイメージの広げ方、テーマ設定絵画	・絵画表現におけるテーマも見つけ方、イメージマップを使った発想法を理解する。水張りの技法を理解する。実際にやってみて技術を習得し理解する。 ・自分のイメージしたものを多様な表現技法を使って表現する。 ・主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど。芸術の表現・鑑賞を探究しようとする。 ＊タブレットを使用し、画像および動画検索をし、イメージの参考にする。	a、b、c	
6	絵画、	5	自由テーマ設定絵画	・イメージを膨らませながら、下絵から本制作への課程で自らのイメージを広げる工夫をすることを理解する。 ・自分のイメージしたものを多様な表現技法を使って表現する。 ・主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど。芸術の表現・鑑賞を探究しようとする。 ＊タブレットを使用し、画像および動画検索をし、イメージの参考にする。	a、b、c	
7	絵画、	4	モダンテクニック 表現技法 アクリル技法 絵画制作	・イメージを膨らませながら、下絵から本制作への課程で自らのイメージを広げる工夫をすることを理解する。 ・自分のイメージしたものを多様な表現技法を使って表現する。 ・主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど。芸術の表現・鑑賞を探究しようとする。 ＊タブレットを使用し、画像および動画検索をし、イメージの参考にする。	a、b、c	

8	絵画、	3	モダンテクニック 表現技法 アクリル技法 絵画制作	・イメージを膨らませながら、下絵から本制作への課程で自らのイメージを広げる工夫をすることを理解する。 ・自分のイメージしたものを多様な表現技法を使って表現する。 ・主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど。芸術の表現・鑑賞を探究しようとする。 *タブレットを使用し、画像および動画検索をし、イメージの参考にする。	a、b、c	・授業参加、 ・授業態度、 ・作品課題提出（締め切り評価）、 ・ファイル提出、 ・鑑賞レポート提出、 ・授業振り返りノート提出、 ・美術テスト（期末考査2回）
9	絵画、 鑑賞	5	モダンテクニック 表現技法 アクリル技法 絵画制作 美術展覧会出品	・イメージを膨らませながら、下絵から本制作への課程で自らのイメージを広げる工夫をすることを理解する。 ・自分のイメージしたものを多様な表現技法を使って表現する。 ・主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど。芸術の表現・鑑賞を探究しようとする。 *タブレットを使用し、画像および動画検索をし、イメージの参考にする。 *美術展覧会に出品し、会場で他の作品と飾られて、あらためて自分の作品を鑑賞する機会を得る。	a、b、c	
10	デザイ 彫刻 工芸 鑑賞	6	レタリング、 シンボルマーク デザイン 彫刻技法 鑑賞	・レタリングの基本を理解する。明朝体、ゴシック体の特徴を覚え、フリーハンドでレタリングが出来るようにする。デザインとは何かを考え、理解する。立体作品における材料の扱いについて理解する。 ・立体作品におけるイメージ、アイディアの発想の技法を修得する。 ・主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど。芸術の表現・鑑賞を探究しようとする。 ●レタリング（ゴシック体・明朝体） ●デザイン ピクトグラム・デザイン ●色彩理論 有彩色、無彩色、色相環、暖色系・寒色系・中性色系 トーン、明清色、暗清色、濁色 ●色彩理論と色彩心理の違い ●彫塑と彫刻の違い、立体造形の表現 ●デザインおよび彩色 ●仕上げ、ニス塗り方	a、b、c	
11	デザイ 彫刻 工芸	6	シンボルマーク デザイン 彫刻技法	・デザインとは何かを考え、理解する。立体作品における材料の扱いについて理解する。 ・立体作品におけるイメージ、アイディアの発想の技法を修得する。 ・主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど。芸術の表現・鑑賞を探究しようとする。	a、b、c	
12	彫刻 工芸	5	動きのある人体 (彫塑)	・彫刻・工芸とは何かを考え、理解する。立体作品における材料の特性、扱いおよび制作技法について理解する。 ・立体作品におけるイメージ、アイディアの発想の技法を修得する。 ・主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど。芸術の表現・鑑賞を探究しようとする。	a、b、c	

1	彫刻 工芸	5	動きのある人体 (彫塑)	・彫刻・工芸とは何かを考え、理解する。立体作品における材料の特性、扱いおよび制作技法について理解する。 ・立体作品におけるイメージ、アイディアの発想の技法を修得する。 ・主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど。芸術の表現・鑑賞を探究しようとする。	a、b、c	・授業参加、 ・授業態度、 ・作品課題提出（締め切り評価）、 ・ファイル提出、 ・鑑賞レポート提出、 ・授業振り返りノート提出、 ・美術テスト（期末考査2回）
2	彫刻 工芸	5	動きのある人体 (彫塑)	・彫刻・工芸とは何かを考え、理解する。立体作品における材料の特性、扱いおよび制作技法について理解する。 ・立体作品におけるイメージ、アイディアの発想の技法を修得する。 ・主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど。芸術の表現・鑑賞を探究しようとする。	a、b、c	
3	彫刻 工芸 鑑賞	4	動きのある人体 (彫塑)	・彫刻・工芸とは何かを考え、理解する。立体作品における材料の特性、扱いおよび制作技法について理解する。 ・立体作品におけるイメージ、アイディアの発想の技法を修得する。 ・主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど。芸術の表現・鑑賞を探究しようとする。	a、b、c	

計35時間（50分授業）＋音楽・美術35時間（50分授業）

5 課題・提出物

- ・授業参加
- ・授業態度
- ・主体的に学ぶ姿勢
- ・作品課題提出（締め切り評価）
- ・ファイル提出
- ・鑑賞レポート提出
- ・授業振り返りノート提出
- ・美術テスト（期末考査2回）

6 担当者からの一言

小学校の図画・工作、中学校の美術、高等学校の芸術（美術）と学校教育において教科および科目の名称に変化がある。その名称の違いおよび本質について学校教育の中で生徒自らが特性を感じながら「美術とは何か」を感じてもらうことが何より大切である。美術の幅広い創造活を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深めることを目標としながらも芸術の表現・鑑賞を楽しみながら芸術の学びを実感してもらいたい。

（担当：五傳木浩樹）

中学美術 2

令和 7 年度 シラバス

新潟市立高志中等教育学校

学 科	普通科				
教科名	美術	単位数	1 単位	学年	2 学年
使用教科書	『美術 2・3 上』『美術 2・3 下』 日本文教出版				
副教材等	『美術資料』秀学社、『レタリング字典』秀学社、学習プリント、ファイル（ポートフォリオ）、授業振り返りノート、スケッチブック				

1 学習目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

2 指導の重点

- ・表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指すよう指導する。
- ・作品課題提出締め切りを必ず守るよう指導する。
- ・作品制作の時間配分を考えて、主体的に学び、自らの表現を大切にするよう指導する。
- ・作品課題制作を最後までやり遂げ、完成させるよう指導する。

3 評価規準と評価方法

	評価は次の観点から行います。		
	知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
評価の観点	・絵画、デザイン、彫刻、工芸制作において必要な知識・技能を身につけ、作品に応用することができる。	・絵画、デザイン、彫刻、工芸制作において自ら深く思考し・判断し、イメージを膨らませ、より創造的に作品を表現することができる。	・美術を愛好し楽しみながら学習活動に取り組み、授業の振り返りを次の授業に結びつけ、計画性をもって課題制作し、締め切りを守って提出することができる。
評価方法	以上の観点を踏まえ、 授業参加、授業態度、作品課題提出（締め切り評価）、ファイル提出、鑑賞レポート提出、授業振り返りノート提出、美術テスト（期末考査 2 回） などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 授業参加、授業態度、作品課題提出（締め切り評価）、ファイル提出、鑑賞レポート提出、授業振り返りノート提出、美術テスト（期末考査 2 回） などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 授業参加、授業態度、作品課題提出（締め切り評価）、ファイル提出、鑑賞レポート提出、授業振り返りノート提出、美術テスト（期末考査 2 回） などから、評価します。

4 学習計画

月	単元名	授業 時数	教材名	学習活動 (指導内容)	評価の観点	評価方法
4	絵画、鑑賞	2	模写、デッサン、遠近法 作品鑑賞（対話的鑑賞法の実践）	・3次元（立体）を2次元（平面）に置き換える知識・技能を理解する。模写とデッサンの違いについて理解する。遠近法の種類、遠近法の成立、発明された時代背景を理解する。 ・立体から平面への表現技法を修得し表現する。 ・主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど。芸術の表現・鑑賞を探究しようとする。 ＊タブレットを使用し、画像および動画検索をし、イメージの参考にする。 ●模写とデッサンの違い ●模写 ●鉛筆デッサン ●遠近法（線遠近法、空気遠近法、色彩遠近法） ●透視図法（一点透視図法、二点透視図法、三点透視図法） ●テーマ絵画制作 ●自由課題絵画制作四つ切（文化芸術祭全員出品） ●自由課題絵画制作（文化芸術祭全員出品） ＊新潟県ジュニア絵画展覧会選抜作品出品	a、b、c	・授業参加、 ・授業態度、 ・作品課題提出（締め切り評価）、 ・ファイル提出、 ・鑑賞レポート提出、 ・授業振り返りノート提出、 ・美術テスト（期末考査2回）
5	絵画、鑑賞	4	絵画表現の下描きから本制作までの工程、イメージマップを使用したイメージの広げ方、テーマ設定絵画	・絵画表現におけるテーマも見つけ方、イメージマップを使った発想法を理解する。水張りの技法を理解する。実際にやってみて技術を習得し理解する。 ・自分のイメージしたものを多様な表現技法を使って表現する。 ・主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど。芸術の表現・鑑賞を探究しようとする。 ＊タブレットを使用し、画像および動画検索をし、イメージの参考にする。	a、b、c	
6	絵画、	4	自由テーマ設定絵画	・イメージを膨らませながら、下絵から本制作への課程で自らのイメージを広げる工夫をすることを理解する。 ・自分のイメージしたものを多様な表現技法を使って表現する。 ・主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど。芸術の表現・鑑賞を探究しようとする。 ＊タブレットを使用し、画像および動画検索をし、イメージの参考にする。	a、b、c	
7	絵画、	3	モダンテクニック 表現技法 アクリル技法 絵画制作	・イメージを膨らませながら、下絵から本制作への課程で自らのイメージを広げる工夫をすることを理解する。 ・自分のイメージしたものを多様な表現技法を使って表現する。 ・主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど。芸術の表現・鑑賞を探究しようとする。 ＊タブレットを使用し、画像および動画検索をし、イメージの参考にする。	a、b、c	

8	絵画、	1	モダンテクニック 表現技法 アクリル技法 絵画制作	・イメージを膨らませながら、下絵から本制作への課程で自らのイメージを広げる工夫をすることを理解する。 ・自分のイメージしたものを多様な表現技法を使って表現する。 ・主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど。芸術の表現・鑑賞を探究しようとする。 *タブレットを使用し、画像および動画検索をし、イメージの参考にする。	a、b、c	・授業参加、 ・授業態度、 ・作品課題提出 (締め切り評価)、 ・ファイル提出、 ・鑑賞レポート提出、 ・授業振り返りノート提出、 ・美術テスト (期末考査2回)
9	絵画、 鑑賞	4	モダンテクニック 表現技法 アクリル技法 絵画制作 美術展覧会出品	・イメージを膨らませながら、下絵から本制作への課程で自らのイメージを広げる工夫をすることを理解する。 ・自分のイメージしたものを多様な表現技法を使って表現する。 ・主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど。芸術の表現・鑑賞を探究しようとする。 *タブレットを使用し、画像および動画検索をし、イメージの参考にする。 *美術展覧会に出品し、会場で他の作品と飾られて、あらためて自分の作品を鑑賞する機会を得る。	a、b、c	
10	デザイ 彫刻 工芸 鑑賞	4	レタリング、 シンボルマーク デザイン 彫刻技法 工芸技法 鑑賞	・レタリングの基本を理解する。明朝体、ゴシック体の特徴を覚え、フリーハンドでレタリングが出来るようにする。デザインとは何かを考え、理解する。立体作品における材料の扱いについて理解する。 ・立体作品におけるイメージ、アイディアの発想の技法を修得する。 ・主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど。芸術の表現・鑑賞を探究しようとする。 ●レタリング (ゴシック体・明朝体) ●デザイン ピクトグラム・デザイン ●色彩理論 有彩色、無彩色、色相環、暖色系・寒色系・中性色系 トーン、明清色、暗清色、濁色 ●色彩理論と色彩心理の違い ●彫塑と彫刻の違い、立体造形の表現 ●デザインおよび彩色 ●仕上げ、ニスの塗り方	a、b、c	
11	デザイ 彫刻 工芸	4	シンボルマーク デザイン 彫刻技法 工芸技法	・デザインとは何かを考え、理解する。立体作品における材料の扱いについて理解する。 ・立体作品におけるイメージ、アイディアの発想の技法を修得する。 ・主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど。芸術の表現・鑑賞を探究しようとする。	a、b、c	
12	彫刻 工芸	2	自分のリアルな手 (彫刻)	・彫刻・工芸とは何かを考え、理解する。立体作品における材料の特性、扱いおよび制作技法について理解する。 ・立体作品におけるイメージ、アイディアの発想の技法を修得する。 ・主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど。芸術の表現・鑑賞を探究しようとする。	a、b、c	

1	彫刻 工芸	3	自分のリアルな手（彫刻）	・彫刻・工芸とは何かを考え、理解する。立体作品における材料の特性、扱いおよび制作技法について理解する。 ・立体作品におけるイメージ、アイディアの発想の技法を修得する。 ・主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど。芸術の表現・鑑賞を探究しようとする。	a、b、c	・授業参加、 ・授業態度、 ・作品課題提出（締め切り評価）、 ・ファイル提出、 ・鑑賞レポート提出、 ・授業振り返りノート提出、 ・美術テスト（期末考査2回）
2	彫刻 工芸	3	自分のリアルな手（彫刻）	・彫刻・工芸とは何かを考え、理解する。立体作品における材料の特性、扱いおよび制作技法について理解する。 ・立体作品におけるイメージ、アイディアの発想の技法を修得する。 ・主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど。芸術の表現・鑑賞を探究しようとする。	a、b、c	
3	彫刻 工芸 鑑賞	1	自分のリアルな手（彫刻）	・彫刻・工芸とは何かを考え、理解する。立体作品における材料の特性、扱いおよび制作技法について理解する。 ・立体作品におけるイメージ、アイディアの発想の技法を修得する。 ・主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど。芸術の表現・鑑賞を探究しようとする。	a、b、c	

計35時間（50分授業）

5 課題・提出物

- ・授業参加
- ・授業態度
- ・主体的に学ぶ姿勢
- ・作品課題提出（締め切り評価）
- ・ファイル提出
- ・鑑賞レポート提出
- ・授業振り返りノート提出
- ・美術テスト（期末考査2回）

6 担当者からの一言

小学校の図画・工作、中学校の美術、高等学校の芸術（美術）と学校教育において教科および科目の名称に変化がある。その名称の違いおよび本質について学校教育の中で生徒自らが特性を感じながら「美術とは何か」を感じてもらうことが何より大切である。美術の幅広い創造活を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深めることを目標としながらも芸術の表現・鑑賞を楽しみながら芸術の学びを実感してもらいたい。

（担当：五傳木浩樹）

中学美術 3

令和 7 年度 シラバス

新潟市立高志中等教育学校

学 科	普通科			
教科名	美術	単位数	1 単位	学年
使用教科書	『美術 2・3 上』『美術 2・3 下』 日本文教出版			
副教材等	『美術資料』秀学社、『レタリング字典』秀学社、学習プリント、ファイル（ポートフォリオ）、授業振り返りノート			

1 学習目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

2 指導の重点

- ・表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指すよう指導する。
- ・作品課題提出締め切りを必ず守るよう指導する。
- ・作品制作の時間配分を考えて、主体的に学び、自らの表現を大切にするよう指導する。
- ・作品課題制作を最後までやり遂げ、完成させるよう指導する。

3 評価規準と評価方法

	評価は次の観点から行います。		
	知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
評価の観点	・絵画、デザイン、彫刻、工芸制作において必要な知識・技能を身につけ、作品に応用することができる。	・絵画、デザイン、彫刻、工芸制作において自ら深く思考し・判断し、イメージを膨らませ、より創造的に作品を表現することができる。	・美術を愛好し楽しみながら学習活動に取り組み、授業の振り返りを次の授業に結びつけ、計画性をもって課題制作し、締め切りを守って提出することができる。
評価方法	以上の観点を踏まえ、 授業参加、授業態度、作品課題提出（締め切り評価）、ファイル提出、鑑賞レポート提出、授業振り返りノート提出、美術テスト（期末考査 2 回） などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 授業参加、授業態度、作品課題提出（締め切り評価）、ファイル提出、鑑賞レポート提出、授業振り返りノート提出、美術テスト（期末考査 2 回） などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 授業参加、授業態度、作品課題提出（締め切り評価）、ファイル提出、鑑賞レポート提出、授業振り返りノート提出、美術テスト（期末考査 2 回） などから、評価します。

4 学習計画

月	単元名	授業 時数	教材名	学習活動 (指導内容)	評価の観点	評価方法
4	絵画、鑑賞	2	模写、デッサン、遠近法 作品鑑賞（対話的鑑賞法の実際）	・3次元（立体）を2次元（平面）に置き換える知識・技能を理解する。模写とデッサンの違いについて理解する。遠近法の種類、遠近法の成立、発明された時代背景を理解する。 ・立体から平面への表現技法を修得し表現する。 ・主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど。芸術の表現・鑑賞を探究しようとする。 ＊タブレットを使用し、画像および動画検索をし、イメージの参考にする。 ●模写とデッサンの違い ●模写 ●鉛筆デッサン ●遠近法（線遠近法、空気遠近法、色彩遠近法） ●透視図法（一点透視図法、二点透視図法、三点透視図法） ●テーマ絵画制作 ●自由課題絵画制作四つ切（文化芸術祭全員出品） ●自由課題絵画制作（文化芸術祭全員出品） ＊新潟県ジュニア絵画展覧会選抜作品出品	a、b、c	・授業参加、 ・授業態度、 ・作品課題提出（締め切り評価）、 ・ファイル提出、 ・鑑賞レポート提出、 ・授業振り返りノート提出、 ・美術テスト（期末考査2回）
5	絵画、鑑賞	4	絵画表現の下描きから本制作までの工程、イメージマップを使用したイメージの広げ方、テーマ設定絵画	・絵画表現におけるテーマも見つけ方、イメージマップを使った発想法を理解する。水張りの技法を理解する。実際にやってみて技術を習得し理解する。 ・自分のイメージしたものを多様な表現技法を使って表現する。 ・主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど。芸術の表現・鑑賞を探究しようとする。 ＊タブレットを使用し、画像および動画検索をし、イメージの参考にする。	a、b、c	
6	絵画、	4	自由テーマ設定絵画	・イメージを膨らませながら、下絵から本制作への課程で自らのイメージを広げる工夫をすることを理解する。 ・自分のイメージしたものを多様な表現技法を使って表現する。 ・主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど。芸術の表現・鑑賞を探究しようとする。 ＊タブレットを使用し、画像および動画検索をし、イメージの参考にする。	a、b、c	
7	絵画、	3	モダンテクニック 表現技法 アクリル技法 絵画制作	・イメージを膨らませながら、下絵から本制作への課程で自らのイメージを広げる工夫をすることを理解する。 ・自分のイメージしたものを多様な表現技法を使って表現する。 ・主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど。芸術の表現・鑑賞を探究しようとする。 ＊タブレットを使用し、画像および動画検索をし、イメージの参考にする。	a、b、c	

8	絵画、	1	モダンテクニック 表現技法 アクリル技法 絵画制作	・イメージを膨らませながら、下絵から本制作への課程で自らのイメージを広げる工夫をすることを理解する。 ・自分のイメージしたものを多様な表現技法を使って表現する。 ・主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど。芸術の表現・鑑賞を探究しようとする。 *タブレットを使用し、画像および動画検索をし、イメージの参考にする。	a、b、c	・授業参加、 ・授業態度、 ・作品課題提出（締め切り評価）、 ・ファイル提出、 ・鑑賞レポート提出、 ・授業振り返りノート提出、 ・美術テスト（期末考査2回）
9	絵画、 鑑賞	4	モダンテクニック 表現技法 アクリル技法 絵画制作 美術展覧会出品	・イメージを膨らませながら、下絵から本制作への課程で自らのイメージを広げる工夫をすることを理解する。 ・自分のイメージしたものを多様な表現技法を使って表現する。 ・主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど。芸術の表現・鑑賞を探究しようとする。 *タブレットを使用し、画像および動画検索をし、イメージの参考にする。 *美術展覧会に出品し、会場で他の作品と飾られて、あらためて自分の作品を鑑賞する機会を得る。	a、b、c	
10	デザイ 彫刻 工芸 鑑賞	4	レタリング、 シンボルマーク デザイン 彫刻技法 工芸技法 鑑賞	・レタリングの基本を理解する。明朝体、ゴシック体の特徴を覚え、フリーハンドでレタリングが出来るようにする。デザインとは何かを考え、理解する。立体作品における材料の扱いについて理解する。 ・立体作品におけるイメージ、アイディアの発想の技法を修得する。 ・主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど。芸術の表現・鑑賞を探究しようとする。 ●レタリング（ゴシック体・明朝体） ●デザイン ピクトグラム・デザイン ●色彩理論 有彩色、無彩色、色相環、暖色系・寒色系・中性色系 トーン、明清色、暗清色、濁色 ●色彩理論と色彩心理の違い ●彫塑と彫刻の違い、立体造形の表現 ●デザインおよび彩色 ●仕上げ、ニスの塗り方	a、b、c	
11	デザイ 彫刻 工芸	4	シンボルマーク デザイン 彫刻技法 工芸技法	・デザインとは何かを考え、理解する。立体作品における材料の扱いについて理解する。 ・立体作品におけるイメージ、アイディアの発想の技法を修得する。 ・主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど。芸術の表現・鑑賞を探究しようとする。	a、b、c	
12	彫刻 工芸	2	木彫飾り箱 (工芸)	・彫刻・工芸とは何かを考え、理解する。立体作品における材料の特性、扱いおよび制作技法について理解する。 ・立体作品におけるイメージ、アイディアの発想の技法を修得する。 ・主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど。芸術の表現・鑑賞を探究しようとする。	a、b、c	

1	彫刻 工芸	3	木彫飾り箱 (工芸)	・彫刻・工芸とは何かを考え、理解する。立体作品における材料の特性、扱いおよび制作技法について理解する。 ・立体作品におけるイメージ、アイディアの発想の技法を修得する。 ・主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど。芸術の表現・鑑賞を探究しようとする。	a、b、c	・授業参加、 ・授業態度、 ・作品課題提出（締め切り評価）、 ・ファイル提出、 ・鑑賞レポート提出、 ・授業振り返りノート提出、 ・美術テスト（期末考査2回）
2	彫刻 工芸	3	木彫飾り箱 (工芸)	・彫刻・工芸とは何かを考え、理解する。立体作品における材料の特性、扱いおよび制作技法について理解する。 ・立体作品におけるイメージ、アイディアの発想の技法を修得する。 ・主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど。芸術の表現・鑑賞を探究しようとする。	a、b、c	
3	彫刻 工芸 鑑賞	1	木彫飾り箱 (工芸)	・彫刻・工芸とは何かを考え、理解する。立体作品における材料の特性、扱いおよび制作技法について理解する。 ・立体作品におけるイメージ、アイディアの発想の技法を修得する。 ・主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど。芸術の表現・鑑賞を探究しようとする。	a、b、c	

計35時間（50分授業）

5 課題・提出物

- ・授業参加
- ・授業態度
- ・主体的に学ぶ姿勢
- ・作品課題提出（締め切り評価）
- ・ファイル提出
- ・鑑賞レポート提出
- ・授業振り返りノート提出
- ・美術テスト（期末考査2回）

6 担当者からの一言

小学校の図画・工作、中学校の美術、高等学校の芸術（美術）と学校教育において教科および科目の名称に変化がある。その名称の違いおよび本質について学校教育の中で生徒自らが特性を感じながら「美術とは何か」を感じてもらうことが何より大切である。美術の幅広い創造活を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深めることを目標としながらも芸術の表現・鑑賞を楽しみながら芸術の学びを実感してもらいたい。

（担当：五傳木浩樹）

(芸術：美術Ⅰ)

令和7年度シラバス

学番 市中等1 新潟市立高志中等教育学校

学 科	普通科			
教科名	芸術（美術Ⅰ）	単位数	2 単位	学年 4 学年
使用教科書	『高校生の美術1』 日本文教出版			
副教材等	『美術資料』秀学社、『レタリング字典』秀学社、学習プリント、ファイル（ポートフォリオ）、授業振り返りノート、スケッチブック			

1 学習目標

・美術の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

2 指導の重点

- ・美術の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深めるよう指導する。
- ・作品課題提出締め切りを必ず守るよう指導する。
- ・作品制作の時間配分を考えて、主体的に学び、自らの表現を大切にするよう指導する。
- ・作品課題制作を最後までやり遂げ、完成させるよう指導する。

3 評価基準と評価方法

	評価は次の観点から行います。		
	知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
評価の観点	・絵画、デザイン、彫刻、工芸制作において必要な知識・技能を身につけ、作品に応用することができる。	・絵画、デザイン、彫刻、工芸制作において自ら深く思考し・判断し、イメージを膨らませ、より創造的に作品を表現することができる。	・美術を愛好し楽しみながら学習活動に取り組み、授業の振り返りを次の授業に結びつけ、計画性をもって課題制作し、締め切りを守って提出することができる。
評価方法	以上の観点を踏まえ、授業参加、授業態度、作品課題提出（締め切り評価）、ファイル提出、鑑賞レポート提出、授業振り返りノート提出、美術テスト（期末考査2回）などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、授業参加、授業態度、作品課題提出（締め切り評価）、ファイル提出、鑑賞レポート提出、授業振り返りノート提出、美術テスト（期末考査2回）などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、授業参加、授業態度、作品課題提出（締め切り評価）、ファイル提出、鑑賞レポート提出、授業振り返りノート提出、美術テスト（期末考査2回）などから、評価します。

4 学習計画

月	単 元 名	授 業 時 数	教材名	学 習 活 動 (指 導 内 容)	評 価 の 観 点	評 価 方 法
4	絵画、映像メディア表現鑑賞	6	模写、デッサン、遠近法 作品鑑賞（対話的鑑賞法の実践）	・3次元（立体）を2次元（平面）に置き換える知識・技能を理解する。模写とデッサンの違いについて理解する。遠近法の種類、遠近法の成立、発明された時代背景を理解する。 ・立体から平面への表現技法を修得し表現する。 ・主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど。芸術の表現・鑑賞を探究しようとする。 ＊タブレットを使用し、画像および動画検索をし、イメージの参考にする。	a、b、c	・授業参加、 ・授業態度、 ・作品課題提出（締め切り評価）、 ・ファイル提出、 ・鑑賞レポート提出、 ・授業振り返りノート提出、 ・美術テスト（期末考査2回）

5	絵画、 映像メディア表現	8	絵画表現の下描きから本制作までの工程、イメージマップを使用したイメージの広げ方、テーマ設定絵画水張り	・絵画表現におけるテーマも見つけ方、イメージマップを使った発想法を理解する。水張りの技法を習得し理解する。 ・自分のイメージしたものを多様な表現技法を使って表現する。 ・主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど。芸術の表現・鑑賞を探究しようとする。 ＊タブレットを使用し、画像および動画検索をし、イメージの参考にする。	a、b、c	・授業参加、 ・授業態度、 ・作品課題提出（締め切り評価）、 ・ファイル提出、 ・鑑賞レポート提出、 ・授業振り返りノート提出、 ・美術テスト（期末考査2回）
6	絵画、 映像メディア表現	6	自由テーマ設定絵画	・イメージを膨らませながら、下絵から本制作への課程で自らのイメージを広げる工夫をすることを理解する。 ・自分のイメージしたものを多様な表現技法を使って表現する。 ・主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど。芸術の表現・鑑賞を探究しようとする。 ＊タブレットを使用し、画像および動画検索をし、イメージの参考にする。	a、b、c	
7	絵画、 映像メディア表現	5	モダンテクニック表現技法 アクリル技法 絵画制作	・イメージを膨らませながら、下絵から本制作への課程で自らのイメージを広げる工夫をすることを理解する。 ・自分のイメージしたものを多様な表現技法を使って表現する。 ・主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど。芸術の表現・鑑賞を探究しようとする。 ＊タブレットを使用し、画像および動画検索をし、イメージの参考にする。	a、b、c	
8	絵画、 映像メディア表現	1	モダンテクニック表現技法 アクリル技法 絵画制作	・イメージを膨らませながら、下絵から本制作への課程で自らのイメージを広げる工夫をすることを理解する。 ・自分のイメージしたものを多様な表現技法を使って表現する。 ・主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど。芸術の表現・鑑賞を探究しようとする。 ＊タブレットを使用し、画像および動画検索をし、イメージの参考にする。	a、b、c	
9	絵画、 映像メディア表現 鑑賞	6	モダンテクニック表現技法 アクリル技法 絵画制作 美術展覧会出品	・イメージを膨らませながら、下絵から本制作への課程で自らのイメージを広げる工夫をすることを理解する。 ・自分のイメージしたものを多様な表現技法を使って表現する。 ・主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど。芸術の表現・鑑賞を探究しようとする。 ＊タブレットを使用し、画像および動画検索をし、イメージの参考にする。 ＊美術展覧会に出品し、会場で他の作品と飾られて、あらためて自分の作品を鑑賞する機会を得る。	a、b、c	
10	デザイン 彫刻 工芸 鑑賞	8	レタリング、シンボルマークデザイン ファッションデザイン 彫刻技法 木彫技法 鑑賞	・レタリングの基本を理解する。明朝体、ゴシック体の特徴を覚え、フリーハンドでレタリングが出来るようにする。デザインとは何かを考え、理解する。立体作品における材料の扱いについて理解する。 ・立体作品におけるイメージ、アイディアの発想の技法を修得する。 ・主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど。芸術の表現・鑑賞を探究しようとする。	a、b、c	

11	デザイン 彫刻 工芸	8	シンボルマークデザイン ファッションデザイン 彫刻技法 木彫技法	・デザインとは何かを考え、理解する。立体作品における材料の扱いについて理解する。 ・立体作品におけるイメージ、アイディアの発想の技法を修得する。 ・主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど。芸術の表現・鑑賞を探究しようとする。	a、b、c	・授業参加、 ・授業態度、 ・作品課題提出（締め切り評価）、 ・ファイル提出、 ・鑑賞レポート提出、 ・授業振り返りノート提出、 ・美術テスト（期末考査2回）
12	彫刻 工芸	6	首振り人形（彫塑） 木彫スプーン 木彫手鏡 沖縄紅型染めバック	・彫刻・工芸とは何かを考え、理解する。立体作品における材料の特性、扱いおよび制作技法について理解する。 ・立体作品におけるイメージ、アイディアの発想の技法を修得する。 ・主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど。芸術の表現・鑑賞を探究しようとする。 *美術展覧会に出品し、会場で他の作品と飾られて、あらためて自分の作品を鑑賞する機会を得る。	a、b、c	
1	彫刻 工芸	6	首振り人形（彫塑） 木彫スプーン 木彫手鏡 沖縄紅型染めバック	・彫刻・工芸とは何かを考え、理解する。立体作品における材料の特性、扱いおよび制作技法について理解する。 ・立体作品におけるイメージ、アイディアの発想の技法を修得する。 ・主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど。芸術の表現・鑑賞を探究しようとする。	a、b、c	
2	彫刻 工芸	6	首振り人形（彫塑） 木彫スプーン 木彫手鏡 沖縄紅型染めバック	・彫刻・工芸とは何かを考え、理解する。立体作品における材料の特性、扱いおよび制作技法について理解する。 ・立体作品におけるイメージ、アイディアの発想の技法を修得する。 ・主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど。芸術の表現・鑑賞を探究しようとする。	a、b、c	
3	彫刻 工芸 鑑賞	4	首振り人形（彫塑） 木彫スプーン 木彫手鏡 沖縄紅型染めバック	・彫刻・工芸とは何かを考え、理解する。立体作品における材料の特性、扱いおよび制作技法について理解する。 ・立体作品におけるイメージ、アイディアの発想の技法を修得する。 ・主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど。芸術の表現・鑑賞を探究しようとする。 ・デジタルソフトを使用したデジタル画の作成、デッサン、模写等を実施し、描画表現の可能性を沙探る。 ・学校教育における美術の授業は、本科目美術Ⅰで終了するため、生涯に渡り美術を愛好する心情を養うことを理解する。	a、b、c	

5 課題・提出物

- ・授業参加
- ・授業態度
- ・主体的に学ぶ姿勢
- ・作品課題提出（締め切り評価）
- ・ファイル提出
- ・鑑賞レポート提出
- ・授業振り返りノート提出
- ・美術テスト（期末考査2回）

6 担当者からの一言

小学校の図画・工作、中学校の美術、高等学校の芸術（美術）と学校教育において教科および科目の名称に変化がある。その名称の違いおよび本質について学校教育の中で生徒自らが特性を感じながら「美術とは何か」を感じてもらうことが何より大切である。美術の幅広い創造活を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深めることを目標としながらも芸術の表現・鑑賞を楽しみながら芸術の学びを実感してもらいたい。

（担当：五傳木浩樹）